

排液凝固剤 アイソライザー

アイソクイック／アイソソープ／LTS プラス

用途

排液の凝固

組成

アイソクイック	アクリル系親水性ポリマー（ポリアクリル酸ナトリウム）
アイソソープ	アクリル系親水性ポリマー（ポリアクリル酸ナトリウム）
LTS プラス	アクリル系親水性ポリマー（ポリアクリル酸ナトリウム） ジクロロ-S-トリアジントリオン ナトリウム 二水和物

使用方法

1. 本製品をよく振って、中のパウダーを混ぜます。
2. 排液容器上部のポートを開けます。
3. 本製品のキャップを開け、パウダーを排液容器へ投入します。その際、排液に触れないようご注意ください。
4. 排液容器上部のポートを閉じ、内容物がゲル状になるまで時間をおきます。
5. 内容物がゲル状になってから廃棄してください。
6. 廃棄する際は、処理する自治体等の規則に従って廃棄してください。

使用上の注意

- ・ お子様の手の届かない所に保管してください。
- ・ 高温多湿の場所を避けて保管してください。1 回で使い切ることを推奨しますが、残った場合は、キャップをしっかりと閉めて保管してください。
- ・ 排液の取り扱いは、手袋・マスク・ゴーグル等の保護具を着用して行ってください。
- ・ 眼や皮膚に本製品が接触しないようご注意ください。眼や皮膚に接触した場合には、直ちに大量の水で 20 分以上洗浄してください。また、必要に応じて医師の処置を受けてください。

販売元

村中医療器株式会社

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野二丁目 8 番 2 号

TEL 0725-53-5546 <http://www.muranaka.co.jp>

制定日：2017年1月18日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : 排液凝固剤 アイソライザー LTS プラス
会社名 : 村中医療器株式会社
住所 : 大阪府和泉市あゆみ野二丁目8番2号
電話 : 0725-53-5546

2. 危険有害性の要約

製品の GHS 分類、ラベル要素

GHS 分類

健康に対する有害性

急性毒性（経口）：区分4

急性毒性（経皮）：区分4

急性毒性（吸入）：区分4

皮膚刺激性：区分2

眼に対する重篤な損傷性：区分1

GHS ラベル要素

注意喚起語：危険

危険有害性情報

飲み込むと有害、皮膚に接触すると有害、吸入すると有害

皮膚刺激

重篤な眼の損傷



注意書き

安全対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。取扱い後は皮膚をよく洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。本製品を酸又はアンモニアと混合すると塩素ガスが発生する。

応急措置

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。特別な処置が必要である。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。

眼に入った場合：多量の水と石鹼で洗うこと。特別な処置が必要である。水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

制定日：2017年1月18日

安全データシート

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分	: 混合物質
化学物質の名称	: ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム 二水和物
CAS No.	: 51580-86-0
含有率	: 10.098%

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移し、安静にする。異常を感じるなら医師の処置を受ける。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗い流す。入手可能なら低刺激石鹼を使用する。刺激が持続するときは医師の診断、手当てを受ける。

眼に入った場合

直ちに流水で15分以上洗眼（眼球とまぶたの隅々まで）する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合

口の中を水で洗う。異常を感じるなら医師の処置を受ける。

急性及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

11項（有害性情報）を参照する。

応急手当てを行う者の保護

ばく露の可能性がある場合には8項（ばく露防止及び保護措置）を参照する。

医師に対する特別注意事項

症状を処置する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

環境に相応しい消火剤を使用する。

不適切な消火剤

情報なし

消火活動における特有の危険有害性

引火性/可燃性ではない。

有害な燃焼製品

分解製品には下記を含む：

酸化炭素

酸化窒素

硫黄酸化物

酸化リン

特有の消火方法

消火残留物及び汚染された消火水を地方/国の規則に従って廃棄する。

消火を行う者の保護

保護具を着用する。

制定日：2017年1月18日

安全データシート

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な換気をする。漏洩物に触れてはいけない。吸入、摂取、皮膚/眼への接触を避ける。作業者がばく露限界を超える濃度に直面した場合には適切な保護マスクを使用する。訓練を受けた者が手入れする。保護措置は7項（取扱い及び保管上の注意）及び8項（ばく露防止及び保護措置）を参照する。

環境に対する注意事項

土壌、地面又は地下水に接触させない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

安全に止めることができる場合には漏出を止める。漏出物を封じ込め、不燃性で吸収性のある物（例えば、砂、土、珪藻土、バーミキュライト）で回収し、地方/国の規則に従った廃棄容器に収容する。跡を水で洗い流す。大きな漏出物については、漏出された製品が河川等に排出しないよう、漏出物を堰き止めるか容器に回収する。上水道又は下水道に流さない。

7. 取扱い及び保管上の注意

注意事項

眼、皮膚、衣類に触れないようにする。取扱い後、手をよく洗う。本製品を酸又はアンモニアと混合すると塩素ガスが発生する。

安全な保管条件

子供の手の届かない場所に保管する。適切に表示された容器で保管する。

保管温度

0℃～35℃

8. ばく露防止及び保護措置

作業場制御要因（公衆作業場ばく露限界のある物質）

設備対策

効果的な排気・換気装置を設ける。労働上のばく露基準を下回る空気濃度を維持する。

保護具

呼吸用保護具	通常、呼吸用保護具は不要
手の保護具	適切な手袋を着用する。
眼の保護具	安全ゴーグル、フェイスシールド
皮膚の保護具	特別な保護具は不要
衛生対策	産業衛生安全基準に従う。取扱い後、顔、手、ばく露した皮膚をよく洗う。接触又は飛び散りハザードの場合、眼と体をすぐに浸す又は洗い流す適切な設備を整える。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 粉状
色	: オフホワイト
臭い	: 塩素
引火点	: 非適用
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし
爆発範囲の上限	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし

制定日：2017年1月18日

安全データシート

蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
溶媒における溶解度	: データなし
自動発火温度	: データなし
爆発特性	: データなし
酸化特性	: データなし
分子量	: データなし
揮発性有機化合物	: データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	通常の扱いでは安定である。
危険有害反応可能性	通常の扱いでは知られていない。
避けるべき条件	知見なし
混触危険物質	酸
危険有害な分解生成物	酸化炭素、酸化窒素、硫黄酸化物、酸化リン

11. 有害性情報

人体へのばく露に関する情報

吸入	: 吸入すると有害。
経口摂取	: 飲み込むと有害
皮膚	: 皮膚刺激を引き起こす。皮膚に接触すると有害。
眼接触	: 重篤な損傷を引き起こす。
慢性的ばく露	: 健康被害に関する情報なし。通常使用が求められる。

健康への潜在的影響

吸入	: 情報なし
経口摂取	: 情報なし
皮膚	: 発赤、刺激
眼接触	: 発赤、痛み、腐食

毒性

急性毒性

急性経口毒性	: 急性毒性推定値 500mg/kg
急性吸入毒性	: 急性毒性推定値 1.5mg/l
急性経皮毒性	: 急性毒性推定値 1,100mg/kg

皮膚腐食・刺激 : 皮膚刺激

重篤な眼の損傷・眼刺激 : 眼への不可逆的影響

呼吸又は皮膚 : 情報なし

発がん性 : 情報なし

生殖毒性 : 情報なし

特定臓器毒性 - 単回ばく露 : 情報なし

特定臓器毒性 - 反復ばく露 : 情報なし

吸引毒性 : 情報なし

制定日：2017年1月18日

安全データシート

12. 環境影響情報

生態毒性：生態毒性は知られていない。

製品

魚に対する毒性：情報なし

ミジンコ及び他の水生無脊椎動物に対する毒性：情報なし

藻に対する毒性：情報なし

含有物

ミジンコ及び他の水生無脊椎動物に対する毒性：ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム 二水和物
48 h EC50 Daphnia:0.196mg/l

残留性・分解性：情報なし

生体蓄積性：情報なし

土壌中の移動性：情報なし

オゾン層への有害性：情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

排水溝、水路又は土壌に流さない。地方/国の規則に従って廃棄する。廃棄物処理業者に廃棄依頼する。

14. 輸送上の注意

陸送 危険品ではない。

海上輸送 危険品ではない。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 該当せず

労働安全衛生法 該当せず

化学物質の審査及び製造等の
規制に関する法律（化審法） 優先評価化学物質（法第2条第5項）

16. その他の情報

責任の限定について

記載内容は現時点で入手出来た資料、情報、データなどに基づいて作成しておりますが、新しい知見によって改訂される事があります。また、情報の正確さ、完全性、製品の性能について何ら保証するものではありません。注意事項は通常の実施を前提としたものですが、特別な取扱いをする場合には新たな用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意してください。